

令和7（2025）年 近畿総合体育大会 ソフトテニス競技
競 技 上 の 注 意

1. 競技開始までの時間予定は次の通りとする。
- | | |
|-------------|--------------|
| 8：15 ～ 8：30 | 受付（受付は監督が行う） |
| 8：35 ～ | 監督会議（会議室） |
| 8：40 ～ 8：55 | コート開放 |
| 9：00 ～ 9：20 | 開始式 |

【コート開放】 <8/7（木），8（金），9（土）>

1、2 コート	：滋賀	5、6 コート	：奈良	9、10 コート	：京都
3、4 コート	：兵庫	7、8 コート	：和歌山	11、12 コート	：大阪

注：大会前日（8/7）のコート開放は13：00～を予定しています。
また、大会当日の試合終了後、次の日の試合に向けたコート開放はありません。

2. 進行は、進行表のとおりとするが、競技の進行状況等により変更をすることもあるので、本部からの放送には十分に注意すること。
試合開始時間にコートに集合しない場合は、5分経過ごとに警告1回とし、団体戦の場合のこの警告は第1対戦ペアに累積する。
3. 競技について
- (1) ベンチサイドは、番号・記号の小さい方のチームが審判台から見て左側とする。
 - (2) マッチ開始前の練習は、1分以内とする。
 - (3) 団体戦について
- (ア) オーダー提出
- ・すべての1回戦は～9：10までに、その後の試合は対戦相手が決まってから5分以内に提出する。
※「対戦相手が決まる」とは、本部に採点表が届き、試合結果を本部で確認できたときとする。
 - ・同じものを3枚作成（複写）し、1枚を封筒に入れて本部に提出、もう1枚を挨拶時にコートで確認の為に交換、1枚は自チーム控えとして持っておく。
 - ・指定時間以内に本部に提出されない場合は5分経過ごとに警告1回とし、第1対戦ペアに累積する。
 - ・団体戦の勝者チームの代表者は、次の試合のオーダー用紙を進行本部に取りに来ること。
- (イ) サービス（レシーブ）とサイドの決定は、各マッチの前ごとにコートで行う。
- (ウ) 挨拶後の試合開始前の「円陣」は進行に支障をきたすので行わないこと。
- (エ) 当日どちらかのチームの初戦は、3組すべての対戦を行う。
以後は、2点先取とする。（※2ペアで団体戦に参加する場合の第3対戦目は行わない）
- (オ) チームの選手が応援をする場合は、ベンチ横に整列し、座って応援する。次の試合の選手がベンチ横から離れてコート後ろでウォーミングアップなどをすることは認める。このときラケット・ボールは使用せず、応援はしない。
- (4) 団体戦・個人戦とも、試合が連続する場合は、必要に応じて15分間程度のインターバルをとる。3試合連続の場合は20分程度のインターバルをとる。
- (5) 給水は、各ゲームの間およびファイナルゲームのチェンジサイズ時に認める。ただし、助言（サイドコーチ）の時以外は、審判台付近で給水のみを速やかに行い、打ち合わせなどは行わない。
- (6) 団体戦で、対戦をしていない選手がコート外で休息をとることを認める。
マッチ開始時コートに集合できなかった場合は5分につき警告1回とする。
4. マッチ中の助言（サイドコーチ）・身体上の手当について
- (1) 監督（コーチ）がマッチ内に選手に 助言・身体上の手当 を行う場合は、サイドのチェンジ及びファイナルゲーム前のインターバルの1分以内〔※ヒートルール適用時のファイナル前は3分〕とし、監督（コーチ）は所定のベンチで行うこと。それ以外の者や時間・場所では禁止する（ブロックサインを含む）。
※ヒートルール適用時のファイナル前は3分間助言可とする。
 - (2) 助言（サイドコーチ）の際、45秒〔※2分45秒〕でアンパイヤーが「レッツプレー」のコールを行う。1分〔※3分〕経過時、再度アンパイヤーが「レッツプレー」のコールを行うが、この1分〔※3分〕経過の時点でプレイヤーが移動するそぶりがない場合は警告の対象とする。

5. 監督（コーチ）について

- (1) 団体戦を2面展開で行っている時、監督(コーチ)は、両コート間の中央に位置し、2面分のベンチ入りをする。3面展開の場合は、真ん中のコートに位置し、2面展開に準じるものとする。
- (2) 団体戦・個人戦とも、監督・外部指導者(コーチ)はベンチを移動して助言することができるが、一度離れたマッチのベンチに再び戻ることはできない。
選手はコートを離れて助言を聞くことはできない。
- (3) 個人戦で2ペア以上が出場している場合、登録している監督(コーチ)は同一校内のどのペアの試合にもベンチ入りすることができる。
団体戦で男女チームともが出場している場合も同様とする。
※マッチ途中での交代はできない

6. かけ声・応援 について

- (1) 以下のようなかけ声・応援などは禁止とする。選手・監督は警告の対象、応援団は注意の喚起（または退場）の対象となる。
 - (ア) 過度のかけ声・相手を不快にさせる発声・威圧的な発声や動作。プレー・マッチの進行・大会運営上などに支障があると判断される場合。
 - (イ) インプレー中の発声（マッチ中の選手を除く）。
 - (ウ) 応援団からの助言（次のプレーに関わる内容の指示・かけ声）。
※ブロックサインを含む
- (2) 音の出る道具を使用しての応援は禁止する。

7. 練習場所について

- (1) 屋内でのコート以外でのボールを使った練習は禁止する。
- (2) ドーム前の石畳での練習のみ可能である。

8. 服装・用具等についての補足

- (1) 装飾を避け、シャツの袖をまくったり、ズボンを下げて履いたりしない。
- (2) 文言や記号を後から記入もしくは印刷し、使用してはいけない。（端の部分に小さく記名するのは可）
- (3) 腕などへのペイント・文字の書き込み、磁気ネックレス、装飾品（ミサンガなど）、腕時計の使用は禁止する。
- (4) アンダーシャツ、サポーター、テーピングを使用する場合、その色は、単色とする。
- (5) 特別な医療器具を使用するときには、各府県専門委員長を通じて、大会本部に連絡する。

9. その他

- (1) 応援横断幕・旗などの掲出は、大会本部が認めた場所のみ可とします。
（許可を得ること）
- (2) 監督(コーチ)および選手によるコート内へのクーラーボックスの持ち込みは可とします。
- (3) ビデオ撮影について
 - ① コート内でのビデオ撮影は禁止します。ただし、5～8コートに限りコート内に1台のカメラの設置を認める。
 - ② コート外からの撮影においても、撮影機器を無人で設置しての撮影は禁止します。
- (4) 競技中のフラッシュ撮影は禁止です。
- (5) 大会の様子等の写真・動画などの、SNS（ソーシャルネットワーク）関連への無断掲載は、個人情報保護の観点から禁止です。
- (6) 個人戦の5位のペアは、近畿中体連ソフトテニス専門部より表彰します。（分離表彰）
- (7) 全国中学校ソフトテニス大会への出場資格を得たチーム・ペアの監督は、全国大会の説明を受けてから帰るようにしてください。
- (8) ごみは持ち帰りです。

☆各校、ソフトテニスのルールだけでなく、会場使用上の注意、各中学校での約束事、社会的なマナー等をしっかり守った上で、スポーツマンシップにのっとり、参加できるようにお願いします。